

令和 7 年度(2025 年度)

家庭教育学級の手引

つくば市教育局生涯学習推進課

目 次

1 はじめに.....	1
2 家庭教育学級の1年の流れ.....	2
3 年間学習計画の立案.....	4
(1) 家庭教育学級の役職を決める.....	4
(2) 学びのテーマを決める.....	4
(3) 学習計画の立案.....	4
(4) 講座形式を決める.....	5
(5) つくば市による家庭教育学級への助成.....	6
4 家庭教育学級の運営.....	7
(1) 設立計画書の作成・提出.....	7
(2) 閉級報告書の作成・提出.....	7
5 その他	8
6 よくある質問.....	9

1 はじめに

「家庭教育」は、すべての教育の出発点です。家庭教育は、子どもの健全な身体と人格の発達のために、親またはそれに準ずる大人が、子どもに対して家庭で行う教育を言います。

「家庭教育学級」は、家庭教育を行う保護者自身が、家庭教育について理解を深める学びの場の一つとして実施されるものです。昭和 30 年代から家庭教育の関心が高まり、昭和 39 年度から文部省(現文部科学省)が成人教育の一環として全国の市町村に対して補助を開始したことから家庭教育の振興がはじまりました^{*1}。

家庭教育学級では、親などが自ら企画し、一定期間にわたって計画的・継続的に家庭教育に関する学習を行います。子育ての悩みや、不安などについて参加者とともに意見を交わしたり、知識を得たりしながら、家庭教育のあり方を学び、親として自らを振り返る大切な時間となります。

つくば市では、市立幼稚園、小中学校、義務教育学校において、家庭教育学級が開催されています。

つくば市社会教育指導員は、各家庭教育学級に対して、充実した学びとなるよう、学級生の皆様に寄り添いながら学級運営のお手伝いをしています。

*1 文部科学省 HP「我が国の文教施策」「家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会」配布資料

2 家庭教育学級の1年の流れ

家庭教育学級は、次の(1)から(4)のスケジュールで行われます。

- (1) 年間学習計画の立案
- (2) 設立計画書(様式第1号)の作成・提出
- (3) 講座の実施
- (4) 閉級報告書(様式第3号)の作成・提出

資料の一覧

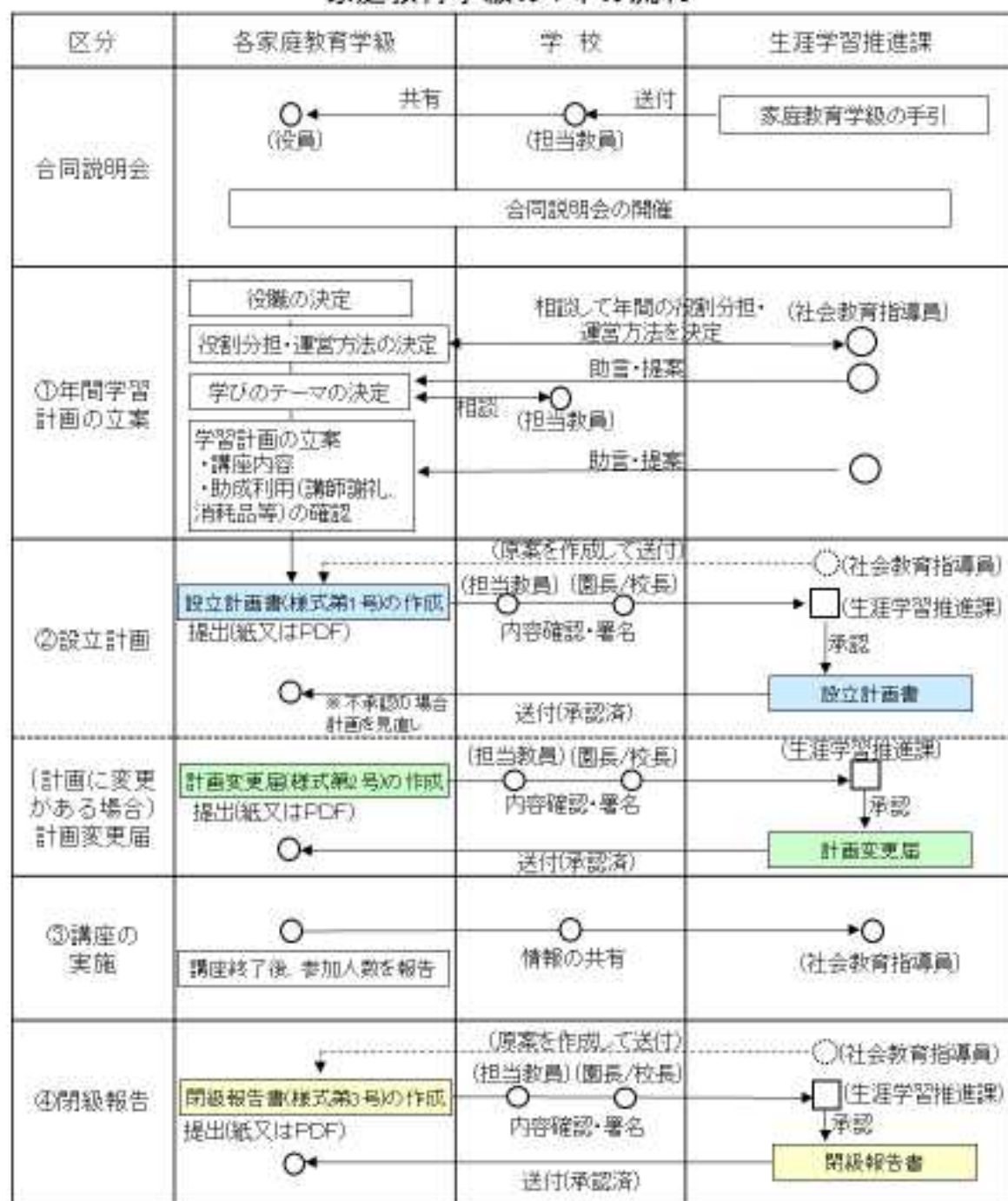
様式第1号 設立計画書

様式第2号 計画変更届

様式第3号 閉級報告書

別紙1 講師選出理由書

家庭教育学級の1年の流れ



3 年間学習計画の立案

年度当初に家庭教育学級役員、学校、担当社会教育指導員（以下「担当指導員」という。）で相談し、役割分担を決めます。担当指導員が学級それぞれの実情に合わせ、書類作成を含め全面的にサポートします。

(1) 家庭教育学級の役職を決める

家庭教育学級に参加する学級生の中から、学級運営の中心となる役員を選出します。役員の中から、役職を決めておくこと今後の学級運営を円滑に進められます。各学級の実施形態に合わせて役職や役割を決めていきましょう。

〔例〕

役 職	役 割	役 職	役 割
学級長	学級運営の代表	会計	学級に関わる会計
副学級長	学級長の補佐	書記	各種書類の作成及び記録

(2) 学びのテーマを決める

家庭教育学級での学びのテーマを決めます。家庭教育学級は、子どもたちへの家庭教育に資する学びを行うために実施されます。家庭教育学級で学んだことを子どもたちの健全な育成に役立てるという視点でテーマを決めると良いでしょう。

(3) 学習計画の立案

学びのテーマに沿って、学習のねらいを明確にして講座を決めていきます。学習計画を立案する際は、幼稚園・学校の先生と十分に相談をして決定しましょう。

つくば市教育大綱(令和2年3月策定)では、「一人ひとりが幸せな人生を送る

こと」を最上位目標に掲げており、(1)「教え」から「学び」へ(2)「管理」から「自己決定」へ(3)「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へという3つの柱を示しています。家庭教育についての理解を深め、より良い社会をつくるための力を育てることを目指して、生涯学習推進課では次の「学びの柱」を設けています。

学びの柱	(具体的な例)
① 子どもの成長に伴う関わり方	しつけ、叱り方、褒め方、思春期の子どもの関わり方等
② 家庭でのメディアリテラシー	SNSでのトラブル等
③ 身近な人権と多様性	LGBTQ+の理解、SOGIの理解、障害者支援、インクルーシブ等
④ 安全な暮らしと健康な体づくり	保健、食育、睡眠、運動、防災、救急救命等
⑤ つくば再発見を通して育む感性	つくばの文化、芸術、歴史、自然、科学技術等

講座を決める際には、これらの柱をバランスよく取り入れましょう。

(4) 講座形式を決める

各回の講座形式は、目的や学級生の要望などに応じて決めましょう。以下はこれまでに開催されてきた家庭教育学級の講座形式の例です。

(ア) 外部講師を招く形式

「学びの柱」に沿った内容となるような外部講師を招いて講座を開催する。

(イ) 幼稚園、学校の先生方を囲んでお話を伺う形式

園や学校での子どもたちの生活について、保護者と教員の双方で見守れるように、相互理解を深める場とする。

(ウ) 社会教育指導員を活用して意見交換の場をつくる形式

社会教育指導員をファシリテーター(進行役)とし、保護者が抱える不安や疑問をテーマとして取り上げ、お互いに話し合うことで改善・解決につながるよう、意見交換会を開催する。

(5) つくば市による家庭教育学級への助成

家庭教育学級の運営に当たり、つくば市から次のような助成を受けることができます。

(ア) 外部講師を依頼する場合の講師謝礼

つくば市の謝礼基準に応じた金額となりますので、講師との調整を行う前に担当指導員に御相談ください。なお、市の予算ではなく家庭教育学級費等から謝礼を支払う場合、源泉徴収をする必要がありますので、御注意ください。

(イ) 文房具等を購入する場合の消耗品費（年間 2,750 円(税込)以内）

家庭教育学級の開催に必要な消耗品を購入することができます。事前に担当指導員に確認の上、幼稚園や学校の取扱店で購入してください。担当指導員が手配することも可能ですので御相談ください。

請求書の宛名は「つくば市教育局生涯学習推進課」としてください。購入後は、つくば市会計規則に基づき処理する必要がありますので7日以内に請求書を生涯学習推進課に提出してください。

コピー用紙は、無料でお渡しすることができます。事前に必要な冊数を担当指導員に御連絡ください。打合せ時やつくば市役所4階生涯学習推進課でお渡しします。

(ウ) 保育ボランティア

当課で登録している保育ボランティアを利用することができます。事前に担当指導員に御相談ください。

(工)言語通訳、手話通訳

利用を希望する場合は、事前に担当指導員に御相談ください。

4 家庭教育学級の運営

(1) 設立計画書の作成・提出

年間学習計画が立案できましたら、**設立計画書**(様式第1号)を作成し、幼稚園・学校の家庭教育学級担当の先生及び幼稚園長・学校長の確認を受け、**署名**をいただいたものを生涯学習推進課に紙面(又はPDF)で提出してください。外部講師を招く場合は、**講師選出理由書**(別紙1)に、講師のプロフィール、講師選出理由等を記載して提出してください。原案を担当指導員が作成することも可能ですので、御相談ください。

なお、設立計画書には役員の連絡先について全員分記載しなくても構いませんが、必ず主となる役員の方には連絡がつくようにお願いします。

設立計画書が承認された後に、学習計画に変更が生じた場合には**計画変更届**(様式第2号)の提出が必要となります。設立計画書と同様に、家庭教育学級担当の先生及び幼稚園長・学校長の確認を受け、署名をいただいたものを生涯学習推進課に紙面(又はPDF)で提出してください。原案を担当指導員が作成することも可能ですので、御相談ください。変更が承認され次第、変更後の講座を実施することができます。

(2) 閉級報告書の作成・提出

全ての講座が終了後、**閉級報告書**(様式第3号)を作成し幼稚園・学校の家庭教育学級担当の先生及び幼稚園長・学校長の確認を受け、**署名**をいただいたものを生涯学習推進課に紙面(又はPDF)で提出してください。原案を担当指導員が

作成することも可能ですので、御相談ください。

5 その他

以下の場合は、担当指導員へ御相談ください。

- 言語通訳、手話通訳を希望する場合
- 託児を希望する場合

ただし、御希望に添えない場合もありますので御了承ください。

なお、「家庭教育学級の手引」及び家庭教育学級関連書類は、つくば市のホームページからダウンロードすることができます。必要に応じて御利用ください。

6 よくある質問

Q1. 学校で開催される他の行事等との共催は可能か。

A1. 基本的には可能です。ただし、講師への謝礼が発生する場合には注意が必要です。講師との調整前に担当指導員に御相談ください。

Q2. 講座回数は何回でもよいのか。

A2. 開催回数の制限はありません。各学級の予算内で各園・学校の実情に応じて計画してください。

Q3. 学級費(※)はかかるのか。※家庭教育学級運営のために家庭教育学級独自で徴収する活動費

A3. 市では学級費については定めていません。各学級で判断をお願いします。PTA会費等から家庭教育学級への費用を支出している園や学校もありますので、PTA等組織にお尋ねください。ただし、市で行う助成のみでも開催は可能と考えています。

講師選出理由書

※外部講師を依頼する場合は、設立計画書と併せて提出してください。

学級名【 】

講師名	(肩書き)				
講座名					
講師プロフィール ※講師のホームページ等の 写しでも可。					
学びの柱	1	2	3	4	5
講師選出理由及び学 びのポイント					

学びの柱	
1	子どもの成長に伴う関わり方
2	家庭でのメディアリテラシー
3	身近な人権と多様性
4	安全な暮らしと健康な体づくり
5	つくば再発見を通して育む感性

つくば市家庭教育学級設立計画書

1 学級の基本情報

学校名	
対象学年	

2 役員

役職	氏名	連絡先
学級長		
副学級長		

3 学びのテーマ

--

4 学習・費用計画

実施予定日		講座名						講師名		講師謝礼(円)
1	月 日							(肩書き)		
		学びの柱	1	2	3	4	5	(講師名)		
2	月 日							(肩書き)		
		学びの柱	1	2	3	4	5	(講師名)		
3	月 日							(肩書き)		
		学びの柱	1	2	3	4	5	(講師名)		
4	月 日							(肩書き)		
		学びの柱	1	2	3	4	5	(講師名)		
5	月 日							(肩書き)		
		学びの柱	1	2	3	4	5	(講師名)		

学びの柱

1 子どもの成長に伴う関わり方
2 家庭でのメディアリテラシー
3 身近な人権と多様性
4 安全な暮らしと健康な体づくり
5 つくば再発見を通して育む感性

市助成額	講師謝礼計(円)①	
	消耗品費計(円)②	
	合 計 (①+②)	

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校長 署名欄

生涯学習推進課記載欄

学級設立承認日
年 月 日

※押印は不要です。

つくば市家庭教育学級設立計画書

1 学級の基本情報

学校名	〇〇小学校
対象学年	1 学年

2 役員

役職	氏名	連絡先
学級長	筑波 太郎	080 - 1234 - 5678
副学級長	〇〇 〇〇	029 - XXXX - XXXX
会計	〇〇 〇〇	080 - XXXX - XXXX
書記	〇〇 〇〇	029 - XXXX - XXXX

3 学びのテーマ

子どもたちが幸せな人生を送るために今できることを学んでみよう

4 学習・費用計画

実施予定日	講座名	講師名	講師謝礼(円)
1 7月1日	開級式 子育てトーク	(肩書き) つくば市社会教育指導員	0
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名) 〇〇 〇〇	
2 10月1日	SNSを安全に楽しむために	(肩書き) 〇〇大学 准教授	12,200
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名) △△ △△△	
3 12月1日	人権と多様性	(肩書き) NP0法人 〇〇〇〇 代表	0
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名) 〇〇 〇〇 ※PTA人権講演会と共催	
4 月 日		(肩書き)	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)	
5 月 日		(肩書き)	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)	

学びの柱

1 子どもの成長に伴う関わり方
2 家庭でのメディアリテラシー
3 身近な人権と多様性
4 安全な暮らしと健康な体づくり
5 つくば再発見を通して育む感性

市助成額	講師謝礼計(円)①	12,200
	消耗品費計(円)②	2,750
	合 計 (①+②)	14,950

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校長 署名欄
〇〇 〇〇〇	△△ △△

生涯学習推進課記載欄

学級設立承認日
年 月 日

※押印は不要です。

つくば市家庭教育学級計画変更届

1 学級の基本情報

学校名	
-----	--

2 変更内容（該当する数字に○）

1	開催日時の変更（中止又は追加を含む。）
2	講師に関する事の変更（講師、肩書、謝礼等）
3	その他（ ）

3 学びのテーマ

--

4 学習・費用計画 ※変更のあった回のみ記入

実施予定日	講座名	講師名	講師謝礼(円)
1 月 日	学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き) (講師名)	
2 月 日	学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き) (講師名)	
3 月 日	学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き) (講師名)	
4 月 日	学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き) (講師名)	
5 月 日	学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き) (講師名)	

学びの柱

1	子どもの成長に伴う関わり方
2	家庭でのメディアリテラシー
3	身近な人権と多様性
4	安全な暮らしと健康な体づくり
5	つくば再発見を通して育む感性

市助成額	講師謝礼計(円)①	
	消耗品費計(円)②	
	合 計(①+②)	

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校長 署名欄

生涯学習推進課記載欄

学級計画変更承認日
年 月 日

※押印は不要です。

つくば市教育委員会教育長 宛て

つくば市家庭教育学級計画変更届

1 学級の基本情報

学校名	〇〇小学校
-----	-------

2 変更内容（該当する数字に○）

①	開催日時の変更（中止又は追加を含む。）
2	講師に関する事の変更（講師、肩書、謝礼等）
3	その他（ ）

3 学びのテーマ

--

4 学習・費用計画 ※変更のあった回のみ記入

実施予定日		講座名					講師名		講師謝礼(円)
1	月 日						(肩書き)		
		学びの柱	1	2	3	4	5		(講師名)
2	10月30日	SNSを安全に楽しむために					(肩書き) ○○大学 准教授	12,200	
		学びの柱	1	2	3	4	5		(講師名) △△ △△△
3	月 日						(肩書き)		
		学びの柱	1	2	3	4	5		(講師名)
4	月 日						(肩書き)		
		学びの柱	1	2	3	4	5		(講師名)
5	月 日						(肩書き)		
		学びの柱	1	2	3	4	5		(講師名)

学びの柱

1	子どもの成長に伴う関わり方
2	家庭でのメディアリテラシー
3	身近な人権と多様性
4	安全な暮らしと健康な体づくり
5	つくば再発見を通して育む感性

市助成額	講師謝礼計(円)①	
	消耗品費計(円)②	
	合 計(①+②)	

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校長 署名欄
〇〇 〇〇〇	△△ △△

生涯学習推進課記載欄

学級計画変更承認日
年 月 日

※押印は不要です。

つくば市家庭教育学級閉級報告書

1 学級の基本情報

学校名	
-----	--

2 学習・費用実績

実施日	講座名	講師名	講師謝礼(円)	参加人数	(参加人数内訳)
1 月 日		(肩書き)			(保護者)
		(講師名)			(園児・児童・生徒)
	学びの柱 1 2 3 4 5				
2 月 日		(肩書き)			(保護者)
		(講師名)			(園児・児童・生徒)
	学びの柱 1 2 3 4 5				
3 月 日		(肩書き)			(保護者)
		(講師名)			(園児・児童・生徒)
	学びの柱 1 2 3 4 5				
4 月 日		(肩書き)			(保護者)
		(講師名)			(園児・児童・生徒)
	学びの柱 1 2 3 4 5				
5 月 日		(肩書き)			(保護者)
		(講師名)			(園児・児童・生徒)
	学びの柱 1 2 3 4 5				

学びの柱

1 子どもの成長に伴う関わり方
2 家庭でのメディアリテラシー
3 身近な人権と多様性
4 安全な暮らしと健康な体づくり
5 つくば再発見を通して育む感性

市 助 成 額	講師謝礼計(円)①		参加人数合計	
	消耗品費計(円)②			
	合 計(①+②)		※授業として児童生徒が参加した場合は、参加者数には含みません	

感想(全体を通しての感想を書いてください。)

担当指導員コメント欄

担当指導員：

生涯学習推進課記載欄

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校長 署名欄

学級閉級承認日
年 月 日

※押印は不要です。

つくば市家庭教育学級閉級報告書

1 学級の基本情報

学校名	〇〇小学校
-----	-------

2 学習・費用実績

実施日	講座名	講師名	講師謝礼(円)	参加人数	(参加人数内訳)
1 7月1日	開級式 子育てトーク	(肩書き) つくば市社会教育指導員	0	30	(保護者) 30
	学びの柱 ① 2 3 4 5	(講師名) 〇〇 〇〇			(園児・児童・生徒) 0
2 7月1日	SNSを安全に楽しむために	(肩書き) 〇〇大学 准教授	12,200	50	(保護者) 50
	学びの柱 1 ② 3 4 5	(講師名) △△ △△△			(園児・児童・生徒) 0
3 12月1日	人権と多様性 ※PTA人権講演会と共催	(肩書き) NPO法人 〇〇〇〇 代表	0	50	(保護者) 50
	学びの柱 1 2 ③ 4 5	(講師名) 〇〇 〇〇			(園児・児童・生徒) 0
4 月 日		(肩書き)			(保護者)
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)			(園児・児童・生徒)
5 月 日	その他の例 親子工作 「身近な素材でSDGsを知ろう」	(肩書き) 株式会社〇〇〇〇 代表取締役		60	(保護者) 30
	学びの柱 1 2 3 ④ 5	(講師名) 〇〇 〇〇			(園児・児童・生徒) 30

学びの柱

1	子どもの成長に伴う関わり方
2	家庭でのメディアリテラシー
3	身近な人権と多様性
4	安全な暮らしと健康な体づくり
5	つくば再発見を通して育む感性

市助成額	講師謝礼計(円)①	12,200	参加人数合計 130	※授業として児童生徒が参加した場合は、参加者数には含みません。
	消耗品費計(円)②	2,750		
	合 計(①+②)	14,950		

感想(全体を通しての感想を書いてください。)

家庭教育学級の運営は不安だったが、参加した保護者から「参加して良かった」「とても役に立つ内容だった」との感想をもらい、嬉しく思った。〇〇を工夫した点が良かった。〇〇な点はもっと〇〇だったら良かった。

担当指導員コメント欄

担当指導員：

※提出時に担当指導員が記入し、承認後返却します。

生涯学習推進課記載欄

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校長 署名欄
〇〇 〇〇〇	△△ △△

学級閉級承認日
年 月 日

※押印は不要です。